



◆早崎百合子 議員

定時運行バスなどの考えは

町長 ※町公共交通会議で協議する

オンデマンドバスは電話等で予約し、都合のよい時間に停留所にバスがきてくれるが、予約不要の定時運行バスが望ましいと考える。

問 定時運行バスの考えは。

答 現在運行のオンデマンドバスと比べ、停留場の数が大幅に減少することや、停留所までの移動距離の制約などが考えられる。

問 オンデマンドバスの休日運行は。

答 医療機関や商業施設への利用者のニーズは高いが、運行経費の増加、燃料費等の高騰などへの対応を考えていく必要がある。

問 今後の考えは。

答 今後、超高齢化社会を迎える中、鉄道、民間バスなど含めた地域の公共交通の会議の中で協議していく。



オンデマンドバス

※町公共交通会議とは、町各種団体代表者、鉄道などの公共交通事業者、近隣自治体などの他に、交通施策に精通した国、県関係者及び学識経験者が参画する会議となる。



◆吉田 太郎 議員

新町長の政治姿勢は

町長 現場主義と町民目線で

所信表明で掲げられた施策や課題はどれも重要なものばかりであり、町の発展には必要不可欠である。

問 重要な施策や課題がある中、何を意識して進めていかれるのか。

答 スピード感と継続性を必要に応じ選り好みせず、全体のバランスをとって進めたいと考えている。

問 職員、副町長と豊富な行政経験があると考えますが、それらを踏まえて、どのような町政運営を心掛けていくのか。

答 これまでの行政経験の中で大切にしてきたことは、「現場主義」と「町民目線」。

町民の立場に立って、物事を考えてきた。「協働のまちづくり」を推進するため、思いやりのある心の通った行政運営を心掛けていきたいと考える。



川地町長答弁



◆田中 敏弘 議員

町長が目指す町の将来像は

町長 町民目線の行政で課題対応

問 町長交代にあたり住民目線でのまちづくりのため、全ての施策見直す「行政経営改革プラン」(重点取り組み項目・推進計画)を立てるべきと思うが見解を問う。

答 「養老町第2次行政経営改革プラン」については計画期間の終期が今年度末であるので、現在次期プランの策定に向けて「養老町行政改革推進審議会」の意見も聞きながら取り組んでいるところである。

問 令和5年度予算編成方針についての考えは。

答 町長選挙時に公約として掲げた6項目については、全て優先したい重要施策である。令和5年度については、まず「人口減少対策」で

急激な人口減少時代、終息が見えない新型コロナウイルス感染症、さらに原油高や物価高と課題が山積みの中、心して取り組むべき。

は人口減少を克服する施策を、「産業振興」では魅力的なまちを目指して積極的な企業誘致のほか、食肉産業など主要産業の活性化を図る施策を実施したいと考えている。



養老町人口ビジョンとまちづくりビジョン

学校給食の無償化は

町長 公費負担を段階的に検討

現在、養老町では、小学校一人当たり月額4500円、中学校は、月額5300円を保護者が負担している。

問 給食費の無償化は。

答 財政負担は大きく、年間1億円を超える経費がかかり、完全無償化は現状難しいが、一部を段階的に公費負担を検討する。デザイナを公費負担する支援策は継続する。

問 給食施設の今後は。

答 令和4年9月から、養老小を拠点とし、広幡小、上多度小へ配送する施設の拠点校化をスタート。今後は、拠点校化のアンケート調査を実施し、方向性を慎重に協議する。

問 コロナ禍の中、3年が経ち、配膳時、食事の感染対策の緩和は。

答 引き続き飲食時の黙食を継続していくが、児童生徒の心が閉鎖的にならないよう、学校放送などで様々な取り組みを工夫している。



◆西脇 康 議員



小学校の給食風景

